

市議団ニュース

NO. 1778
16.01.17
日本共産党根室市議団
宝林町4-203
電話23-6023
FAX24-1684

根室市政の課題あれこれ……

2016年をむかえ、今年根室市をとりまく環境は、いつそこの厳しさが予想される年となりそうです。何よりも、ロシア海域でのサケマス流し網が禁止となり、その影響が具体的に表れる年となります。本当の意味でのサケマス流し網禁止元年です。

この時期は、来年度予算編成中のため、新年度に向けた具体的な方向性がまだニュース等に書けないので、今号は根室市政の課題の内からあれこれを拾ってみました。

どう進むサケマス対策

サケマス流し網対策の補正予算が国会議案に計上されています。水産庁が明らかにした内容は、ロシア海域での代替え漁法転換支援3億円、日本二百カイリ内代替え漁業転換支援50億円

ホタテ等養殖試験支援1億円

漁港・漁場整備12億円

種苗生産施設等整備29億円

サケマス加工原料緊急対策6億円とな

っており、その他、減船対策

等に13億円(基金事業期間

の延長)となっています。一

般に「サケマス対策」といわ

れる予算は、

の101

億円とされています。また、

減船対策の13億円を含め

対口サケマス流し網対策費

全体が114億円。その他、

中小企業融資対策も盛りこ

まれています。問題は代替え

漁業等の50億円やロシア

海域での代替え漁法転換が

具体的にどう進むのが大

きな「カギ」になります。現

在のところその姿が具体的

に見えてこないだけに「不

安」や「心配」なことばかり

です。

北海道は、この十五日まで

の間に会議を開きロシア、日

本海域での代替え漁業等の

考え方を一定程度示す方向

で検討中です。さらに、根室

市が期待している、新ホタテ

漁場(根室湾側)の予備調

査が行われています。その

「小規模漁場調査」は、桁

曳網によるもので、ホタテ

の外敵「ヒトデ」の生息密

度は、既存の漁場より良好

で、ホタテ漁場として問題

ない状況です。

その反面、ホタテの生息

に適する底質(海底状態)

は、砂・泥等の状況が必ず

しも漁場に向かないという

報告もあり、これからの調

査でどうなるのか心配され

ています。

また、太平洋側の調査は、

この2月中旬に、民間調査機

関と契約し、道の水産試験

場も加わり、水流等の環境

調査が始まります。

どうなる？ 18才選挙権問題！

今年実施される7月の参議院選挙から、18才になった若い人たちにも、選挙権が与えられます。成人前の18才、19才の若者たちの選挙への動向が選挙結果に直結するだけに、この世代がその選挙権をどう行使するのか、今年の参院選挙が注目されるどころです。

北海道選挙管理委員会では、18才、19才の若者が選挙権を行使できる初めての選挙となる今夏(7月)の参議院選挙へ向けて、その対象年代の関心度を高めようという事業が既に先行的に実施されてきました。

根室市でも、こうした「道選管」の事業と連携し、「選挙啓発高校生出前講座」が1月26日(火)午後から根室高校で実施されます。

この「選挙啓発出前講座」は、今年有

者となる高校生を対象としたもので、講座、

模擬投票等を通じて、選挙の仕組みや投票

参加の意義について理解を深めるもので

す。この出前講座は、根室高校の全2年生

を対象に、高校の「政治経済」「現代社会」

等の一環として行われます。

「講義」「選挙啓発DVD」「模擬投票」

が実施される予定です。問題は高校教育の

中でどう公正で自由な「政治教育」が保障

されるのか、文科省、道教委の考え方こそ

注目されなければなりません。

順調なふるさと納税

「根室市ふるさと応援基金」といわれる「ふるさと納税」は、この27年度から、「返礼品」を実施、さらに6月からその「返礼品」の内容充実による「魅力度」がアップして、今年度末には10億円をこえる納税がされる見込みとなっています。

根室市はこれまで、ふるさと応援基金への寄付として「安心」「支え合い」のまちづくりプロジェクト、住みたいと思える「ひと」「しごと」「プロジェクト」「市民協働」推進プロジェクト、「北方領土返還運動」の四分野(過去には、市立病院へも)を応援する基金への寄付を募集してきました。

これまでは返礼品は、市民が丹精込めた「押し花」やコンプ茶等でしたが東京根室会や議会内から、根室の優れた「特産品」を有効に活用し、「地元産品の宣伝普及も考えては」との指摘に応え、海産物等の「返礼品」に切り替えてきました。この12月朝のテレビ・ワイドショウ等で紹介されたこともあり、大きな成果へと繋がりました。